

原紙B九段が投下された後、広島や長崎では、放射能に汚染された雨＝「黒い雨」が降り注ぎました。その結果、直接的には被曝していない人たちが、黒い雨によって被曝をし、白血病その他で多くの人たちが市に、苦しんできました。それから76年もたった現在、ようやく裁判所が、黒い雨で被曝した人たちが「被爆者」である以上は救済されるべきであるという判決を出しました。なんと76年という恐ろしく長い年月が経った後のことです。この国の裁判所がその責任を果たしてこなかったということは、これだけでもわかると思います。早く救済すべきなのですが、愚かな前菅総理は、広島の被爆者は救済するが、長崎の被爆者は救済しないと言っています。【下】なんとまあ薄情な菅前総理です。菅に限らず、自民党政権は、もともとは自分たちと同じ政党の人たちが戦争を起こしてきたのに、その責任を取ろうとしないのです。「国益」だそうなのですが、この国の国益には、弱い立場の人たちは含まれていないのでしょう(怒)。



田中熙巳さん (89)

## 2021年8月 ヒバクシヤ

### 保有国・日本に参加迫る

核兵器禁止条約に日本が参加する動きが、保有国・日本に参加を迫る。...



黒い雨

今村昌平 監督作品

## 「黒い雨」長崎も救済を

### 被爆地域拡大求め続け

#### 体験者訴訟原告 さらなる政治決断期待

広島高裁判決 国上告断念

「黒い雨」長崎も救済を求め、被爆地域拡大を求めている。...

## 核先制不使用「日本賛同を」

### 唯一の被爆国が阻止なら悲劇

#### 元米高官ら、菅首相に書簡

核先制不使用をめぐり、唯一の被爆国である日本が阻止しない限り、悲劇は繰り返される。...

【上】【左】「核兵器禁止条約」にも「核兵器による先制攻撃禁止(条約)」にも安倍や高市や稲田などの自民党の右翼の政治家は、受け入れようとしないのでからあきれ果てます。危機にさらされているのはあなた達の未来なのです。早くこのような人たちを国会から追い出しましょう。また、2021年8月末にドローンによるアメリカの報復攻撃が誤爆で、たくさんのアフガニスタンの一般市民も殺害されました。9月10日頃のニュースです。ロボット兵器の禁止をししないと、このような被害は、今後頻発するでしょう。

## 論点

### 今必要な「反戦」

第二次世界大戦後、主要国同士の全面戦争は起きておらず、近年の軍事行動は先進国対テロ組織など非対称な形が目立つ。...

### 長有紀枝

立教大学大学院教授

### ロボット兵器規制、早急に

第二次世界大戦後、主要国同士の全面戦争は起きておらず、近年の軍事行動は先進国対テロ組織など非対称な形が目立つ。...

【下】現在の防衛相は、こっそりと莫大な税金を使って、自衛隊の戦力を強化し、沖縄の南には、いくつもの軍事施設をつくっています。習近平さんが言っているように、「中国脅威論」は時代遅れなのです。中国と仲よくしアメリカとも仲よくする以外に日本は生き残れないのです。

## F15改修費、740億円増 防衛省

防衛省は5日の自民党国防国会・安全保障調査会の合同会議で、航空自衛隊F15戦闘機のうち約70機の能力を向上させる改修経費について、当初見積もりから約740億円増の総額約3980億円になる見通しだと明らかにした。...

また、減額交渉を進めてきた。減額が一定程度実現し、ほかの戦闘機を新規導入するよりも経費や運用面での優位性があるとして、事業を継続する。27年度までに、まず20機の改修を終える見込み。22年度予算編成の概算要求では、金額を示さない「事項要求」として盛り込む。この日の部会で了承された。出席議員からは、さらなる費用低減を求める声が出た。

【下の2枚】2021年の9月11日の「ニューヨークテロ」以降、20年に及ぶアフガニスタン戦争は、アメリカの敗北で終わりました。最近はいろいろなところで「ニューヨークテロは、アメリカが仕組んだ、自作自演のテロであった」という見解が有力です。アメリカがサウジアラビアの高官と仕組んだものであるという説です。知っていましたか？ それでは誰が何のためにこのような恐ろしいことをしたのか想像できますか？それは「戦争をし続けていると、爆弾や兵器が売れないので、わざと紛争を起こして、ぼろ儲けをしている、アメリカを支配し、世界を支配している、大軍事企業」なのです。軍事企業は「平和と自国の安全」などと嘯いているのですが、戦争をしないことが一番良いことはわかり切っているのに、そんなきれいごとを言って、人びとの平和への願いを潰しているのです。

Features EXCLUSIVE

ア あの日、ホワイトハウスはなぜ助かったのか

9.11 ツインタワーに激突した2機を操縦するテロリスト2人は愛し合っていた——本誌の取材で明らかになった衝撃の事実

ウィリアム・アーキン(ジャーナリスト、元米陸軍情報分析官)

47 NEWSWEEK 2021.9.21 46

World

2001-2021 THE AFGHAN WAR

What women stand to lose under Taliban rule  
BY ZAHRA NADER AND AMIE FERRIS-ROTMAN

The consequences of President Biden's choice  
BY BRIAN BENNETT

A Gold Star family's grief  
BY W.J. BENNIGAN

The lessons left unlearned  
BY JAMES STAVRIDIS

With reporting by Alejandro de la Garza, Nik Popil, Simone Shah and Julia Zurhian



福岡県八女市黒木町の山あいにある福野でヒガンバナが咲き誇る。秋風に揺れる可憐な花は、犠牲者への追悼の意を込めて、地元の人々によって植えられている。黒木町の地産物として、元は餅作りの道具で、地元ではお盆の飾りとして使われていた。ヒガンバナも次々に増え、約300の種

田のめり田に赤い花々が華やかに輝く。福野を管理するグループ「コメプロジェクト」の代表者である福野が、一帯に咲くように手入れを続けている。種は福野ではなく、田でも楽しめるのが福野の特色だ。(福野 隆夫)

深紅の朝顔

「カウラ事件」映画化

生きて虜囚の辱めを受けず

日本人捕虜 死を求め脱走

オーストラリア

【上】【下】戦前の軍国主義者の言うことをそのまま受け入れて死んでいった「日本人脱走兵」の記事です。著名な漫画家の池田理代子さんのお父さんも、そのうちの一人だったのでしょうか。

【上】9月23日は「彼岸」の中日です。今の現実の世界を「此岸(しがらみ)」と呼ぶのに対して、人としての在り方を理解した人が行くあの世を「彼岸」と呼ぶのです。つまり彼岸は天国なのです。比叡山の延暦寺で講義を受けられます。そのあいだには三途の川という深い谷があるということも。このページのASSETSを見ながら、世界中の、戦争で亡くなられた軍人そして一般の人たちの魂に、仏教的な花とも呼べる「ヒガンバナ」を手向けませんか？

南方で戦った父に思い巡らせ 漫画家、声楽家 池田理代子さん

父への反発心は感謝へ

負の歴史隠さず正視を

今年、戦後75年を迎える。戦後生まれの人口の増加により、戦争体験者は減る一方である。そんな中で戦争の歴史を次世代に伝える「カウラ」の活動が注目を集めている。池田理代子さんは、父の戦時体験を基にした漫画『カウラ』の著者である。

父の戦時体験を基にした漫画『カウラ』の著者である池田理代子さんは、父の戦時体験を基にした漫画『カウラ』の著者である。

現代が学べる 志成館